

中部病院でのインフルエンザ対応について

沖縄県では新型インフルエンザが大流行しております。中部地区および病院内でのインフルエンザの蔓延を防止するために、以下にご協力をお願いいたします。

通常時に増して多くの患者さんが来院されています。待ち時間を短縮し救急医療を円滑に提供するために、軽症の方はかかりつけ医あるいは近くの医院を受診されることをお勧めします。

【インフルエンザ様の症状で受診される患者さんへ】

- ・熱と咳のある方は、マスクを着用してください。
- ・咳やくしゃみの際は、ティッシュで鼻と口を覆ってください。手を頻回に洗ってください。
- ・待合室をわけてお待ちいただきます。

【ご面会の方へ】

- ・熱または咳、鼻水・鼻つまり、ノドの痛みのある方のご面会はお控えください。
- ・小児は感染しやすく、重症化することがあります。小児のご面会はお控えください。
- ・面会前に看護師が体温を計らせていただくことがあります。38℃以上の熱がある場合には、面会をご遠慮いただきます。
- ・面会終了後は、院内にとどまることなくご帰宅ください。

【インフルエンザの検査について】

- ・当院では新型インフルエンザの「確定検査」はしていません。
- ・「迅速検査」は、発熱 1 日目の検出率が低いことより、発熱 1 日目では原則的に検査をしておりません。

【抗インフルエンザ薬(タミフルなど)の予防投与について】

- ・抗インフルエンザ薬の予防投与は、厚生労働省の指針に則って処方します。
- ・感染すると重症化する恐れのある、以下の方のみに提供します。それ以外の方への処方はいけませんので、ご注意ください。

【重症化しやすい基礎疾患】

慢性呼吸器疾患(COPD、喘息)、慢性心疾患、腎不全、免疫抑制状態(ステロイド使用者など)、癌で治療中の方、糖尿病および妊婦、幼児(1 から 5 歳)、高齢者(65 歳以上)

【新型インフルエンザワクチンについて】

- ・新型インフルエンザワクチンはまだ製造されていません。製造後は、厚生労働省の定めた優先順位に則って接種する予定です。
- ・今年も季節性インフルエンザワクチンを接種しましょう。
- ・【重症化する基礎疾患】を持つ方は、「肺炎球菌ワクチン」を接種しましょう。内科外来にご相談ください。